

**授業概要**

現在、日本で働く外国人の4人に1人はベトナムからいらした方々です。日本人にとって身近な存在となったベトナムですが、その歴史はもちろんのこと、現在の生活の様子もほとんど知られていないのではないのでしょうか。本講義では、まずは現代のベトナムを生きる人々の生活の様子、文化や価値観、考え方や行動様式を探ります。その上で、現代ベトナムが持つ様々な顔のルーツを歴史から探っていけるよう講義します。

**授業計画**

第1回	ガイダンス：ベトナム社会主義共和国とは
第2回	環境と生活①：地域区分と主要都市
第3回	環境と生活②：北・中・南部の食文化
第4回	環境と生活③：民族と文字・言語
第5回	環境と生活④：信仰と宗教
第6回	先史時代
第7回	中国王朝による支配
第8回	インド化する東南アジア
第9回	大越国の独立
第10回	大越国の南進と分裂
第11回	大越国の対中関係
第12回	フランスによる植民地支配
第13回	独立への戦いと社会主義
第14回	ベトナム戦争から現代への歩み
第15回	まとめ：日本とベトナム
第16回	筆記試験

**到達目標**

- ・ベトナムの暮らしの様子、歴史の概略等を知り、ベトナムの人々に対する自分なりのイメージを持つことができる。
- ・自らとは異なる外国人の価値観や行動様式に接した際に、それを否定することなく、その背景にある文化や歴史に思いを致そうと心がけることができる。

**履修上の注意**

受講条件は特にありませんが、今年度の「東洋思想史」「東洋史特論Ⅱ」を併せて履修していることが望ましいです（昨年度までの「東洋思想史」との関連はありません）。高校までの歴史教科の基礎知識も求めません。歴史上の出来事や人物、歴史用語や年代を暗記する必要はありませんし、それらをおぼえることも重視しません。

**予習・復習**

読書・インターネットの閲覧・テレビ番組の視聴などを通じ、講義内容から生じた興味関心を深める（授業1回あたり合計4時間程度）、或いはそれに相当する時間を試験勉強やレポート作成にあてることが、単位取得の目安となります。

**評価方法**

平常点60点、期末課題（試験）40点で評価します。平常点は、毎回提出してもらおうリアクションペーパーの内容により評価します。

**テキスト**

講義で配布するプリントをテキストとします。参考文献は講義の中で紹介します。